


日本語版  
第106巻  
2015年8・9月

# 北見工業大学 国際交流センター ニュースレター

- 
- 〈目次〉
  - ドイツ語研修
  - 英語研修
  - 中国語研修
  - 韓国交流研修
  - Cアワー（8月）
  - 今後の予定



## ドイツ語学研修

8月7日（金）～30日（日）於：フライブルク大学

**松岡さん・3年**  
フライブルクの中心街の道路は全て石畳で舗装され、建物の壁や屋根などは全て赤で統一されていて、緻密な計画性に基づいた街並みの調和性に感動した。

**岡本さん・1年**  
ドイツ語学習では、五感を使って覚え、実践で話すことの重要さを感じた。また、研修中、一期一会がたくさんあった。会った人に喜んでもらえ、とても嬉しかった。

**木村さん・1年**  
一番好きなのは、シュバルツバルトに囲まれた伝統的な村だった。そこでは家畜を飼い、ハム等に加工しており、自給自足の生活を学べたよかった。

本学から7名の学生が参加し、本場ドイツで語学研修が行われた。研修では、ドイツ語のみならず、歴史や都市構造なども学べ、ドイツについて様々な理解を深めたようである。彼らの貴重な体験談の一部をご覧いただきたい。

**松原さん・1年**  
現地では、初めて会う人に対しても積極的に話しかけてくれ、私としてはとても助かった。日本の文化にもどんどん取り入れていくべきことだと感じた。

**野中さん・1年**  
スーパー等で店の人と挨拶していて、短いやりとりだったが双方向でコミュニケーションがとれた気がして嬉しく思った。いい経験がたかさんできた。

**桐生さん・1年**  
今回の研修で将来の夢に対する思いも変わった。今後更に外国の事を勉強し、世界中の人と多くの日本人が繋がれるような未来にしたいと思った。



## 英語研修

8月23日（日）～9月26日（土）於：クイーンズランド大学

今年度の英語研修も昨年同様、オーストラリアの大学にて実施された。参加した4名の学生達は、5週間という期間中、語学の習得や現地の人々との交流を活発に行い、成果を挙げて帰国した。以下、彼らの報告書の一部を掲載する。

**平岡さん・3年**  
これまで英語に抵抗感があったが、それらに対するわだかまりを取り除けた。また、外国の人々との交流を通じ、日本を客観視することができた他、多様な価値観を身につけられた。



**大石さん・1年**  
この研修で、両国の文化や考え方の違いを学び、それぞれの良い点、悪い点を異なる角度から見る事ができた。

**高島さん・1年**  
サウジアラビアのクラスメイトとの出会いにより、サウジの文化にも興味を持った。研修では、世界の文化の違いを痛感した。

**玉井さん・1年**  
意思疎通が上手くできなかったこともあったが、時間が経つにつれ、互いの思いや他国の文化を共有できるようになった。





## 中国語研修

8月26日（水）～9月19日（土）於：ハルビン工程大学

今年度の研修は四年ぶりに中国にて実施された。期間中、抗日戦勝七十周年式典があり、多少緊張モードではあったが、研修に関しては全く影響がなかった。学生達は、学習面、交流面共に日々充実した生活を送り、語学力に加え、コミュニケーション能力を高めた研修にもなったようである。また、様々な国の友達が出来たこともあり、英語力の重要性を再認識していた。当初は、3週間の研修に不安を抱く学生もいたが、帰国を前にし、自信に満ちた表情に変わっていた。このことが、本研修の充実さを物語っているのではないだろうか。



### 小森さん（4年）

中国に行って多くの人と出会い、多くの経験をする事ができた。自分の目で見て、感じることはとても大切だと思った。自分の思いを伝えるためにも語学は大切だと改めて実感した。

### 大場さん（1年）

この研修で多くの人とコミュニケーションをとり、一緒に勉強して中国語の面白さを知り、加えて英語の必要性を感じた。また、自分に足りないものを見つけることができた研修になった。

### 安田さん（1年）

短期間ではあったが、中国語学習のモチベーションが高まり、たくさん吸収することができた。実際に行ったことで、その場の雰囲気や生活環境を味わうことができた。収穫があった。

### 久保沢さん（1年）

今回の研修に参加し、簡単なあいさつや自己紹介、日常会話などを少し話せるようになった。勉強した言葉が通じた時は、とても嬉しく感じた。また、ハルビンを訪れたと思う。

## 韓国交流研修

9月1日（火）～8日（火）於：慶尚大学校工科大学



毎年、相互に交流を深めている慶尚大学校工科大学との短期交流研修が、今年は本学から訪問する形で実施された。本学からは、許斐センタ―長を団長に、学生8名、職員1名の計10人が参加して行われた。8日間という短期間での研修ではあったが、現地では、大学の研究室の見学や韓国語講座の受講、晋州市内の視察など、多岐にわたるプログラムに参加することができた。学生達は体験を通じ、韓国について理解

を深めることができたようである。また、本研修期間中は、慶尚大学の学生が通訳を兼ねながら常時同行してくれたこともあり、学生同士、活発な交流が行われていた。こうして、本研修が無事に終了できたわけであるが、これもひとえに、クオンスンギ学長をはじめ、多くの教職員の方々の厚きご尽力の賜物と深く感謝いたす次第である。来年は、本学にて皆様のお越しをお待ちしている。





## 「流しそうめん」 8月6日（木） 16：30～ 於：ラウンジ中庭

夏の風物詩である「流しそうめん」が今年もCアワーにて行われた。当日は、あいにくの空模様で、小雨の中でのスタートとなったが、本学の留学生や日本人学生、ポーランドからのインターンシップ生や市民の方々など総勢96名が参加し、流しそうめんを楽しんだ。

この日のためにOFICの学生達が前日からセッティングとリハーサルを行い、万全な体制で実施された。早速、そうめんが竹筒から流れてくると、皆が我が先にとそうめんをすくっていた。しかし、参加者の中には、箸を上手く使えず、がっかりしていた人もいたり、落胆と歓喜の声が入り混じっていた。また、そうめんに紛れて、さくらんぼやゼリーなどの変わり種が流れると、特に子供たちの間から楽しい声が聞こえてきた。

その後、恒例のスイカ割りへと移り、留学生や子供たちが代表として挑んでいた。最初に5回その場で回ってからのスタートであったため、中にはまっすぐ歩けず、周囲の人たちから笑いを誘っていた人もいた。しかし、その後は立ち上がり、スイカをめがけて一振り。見事に割れたスイカは、切り分けられて、参加者全員に配られた。今年初めてスイカを食べたという参加者も多く、おいしそうに頬張っていた。

こうして、あっという間の時間もすぎ、今年の流しそうめんはお開きとなった。来年は何が流れてくるか、乞うご期待！



### 今後の予定（10-11月）

10月 1日（木）後期授業開始

チューターガイダンス 於：A208

2日（金）秋入学者対象オリエンテーション 於A208

29日（木）留学生歓迎会兼インターナショナルCアワー 於：アトリウム

11月 24日（火）インターナショナルCアワー 16:30～ 於：ミーティングルーム2

27日（金）短期留学生工場見学会

発行所：北見工業大学国際交流センター

住所：北見市公園町165

電話：(0157) 26-9370

FAX：(0157) 26-9373

E-mail：kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp